

いちごぐみだより

令和 7 年 11 月 7 日

社会福祉法人まほろば湊こども園



暑い夏を越え、子どもたちは天気の良い日に戸外遊びを思いっきり楽しむことができる気候になりました。園庭の大型遊具では、段差や階段にも慣れてしっかり座って降りることや手すりを持って安全に登ることができるようになってきています。また三輪車は足で地面を蹴って進んでいた子どもたちが、ペダルに足を乗せて一足一足漕ぐことができるようになってきています。「できた！」が増えてきて自分で遊びを広げていくことができ、戸外遊びもより一層楽しんでいる日々です。



秋のお祭りで布団太鼓が大好きになった子どもたち。子どもたちサイズの手作りの布団太鼓を作ると、お友だちと一緒に担いで「ベ～ら ベ～ら べらしょっしょい！」と言いながら園内で楽しんでいます。一人では担げない布団太鼓をお友だちと力を合わせて担ぐ姿がとてもかっこいいです！



先月行われた 3～5 才の運動会でのお兄さんお姉さんの頑張りに刺激を受けた子どもたち。マツケンサンバや万博テーマソングの曲もお気に入りです。みんなでバルーンをしたり、ダンスを踊ったりして楽しんでいます。

様々なことに触れて「楽しい！」を沢山積み重ねていきたいと思っています。



「やってみよう！」

おむつ替えの時に自分で履いてみようとする姿が見られるようになり、子どもたちの手をとって「足を入れて～」と手順ややり方を伝えながら練習を始めています。「よいしょ！」としっかり持ち上げて履けた時はとても嬉しそうです。また 10 月から午睡明けにオマルに座るようにしています。子どもたちは寝ぼけていますが、タイミングが合うと成功することもあり、その時は「良かったね！」とみんなで喜び合っています。「出た！」という経験を大切にしながら少しずつ進めていきたいと思っています。

「自分でできた！」という自信がもっと挑戦してみようとする気持ちに繋がっていきます。「できた！」という嬉しい気持ちを共感しながら、さりげないサポートを大切にしていきたいと思っています。

また、「自分でやりたい！」という気持ちと裏腹に様々な場面で思うようにできないことから「もーいや！」が子どもたちの口からよく出るようになりました。イヤイヤ期が始まりだした子どもたちの心は葛藤で揺れ動いています。お家でもお子さまとの関わり方で悩んだり困ったりする場面がありましたら、一緒に考えていきたいと思っていますのでいつでもご相談ください。イヤイヤ期には必ず終わりがきます。「子どもたちの成長の証」と捉えて温かく見守っていかれたらと思っています。